

# モリンガを活用した 緑化と循環型農村作り (ミャンマー)

〒840-0822  
佐賀県佐賀市高木町3-10  
電話:0952-24-3334  
E-mail:office@terrapeople.or.jp  
http://terrapeople.or.jp



ひろげる助成  
**3年目**  
実践



地域住民によるモリンガ植林の様子

地域住民の自主的な植林本数	<b>10,000本</b>
循環型農業を実践し始めた住民率	<b>62%</b>
今年度計画の達成度	<b>90%</b>
活動の全体目標に対する達成度	<b>90%</b>

## 苦労した点と工夫した点



### ■ 苦労した点

- 地域住民がモリンガを加工品として販売した経験がなかったため、販売できる品質の商品を作るのに苦労した。
- モリンガ加工品の販路を開拓すること。

### ■ 工夫した点

- モリンガ葉の乾燥機の輸入許可が下りず、加工品の生産が進まなかったが、手作り機械で代用した。
- 研修や植林の際に行政や地域組織を巻き込み息の長い活動を目指した。

### 課題

バオー民族自治区では炊事、焼畑等のために森林が伐採され、森林が年々減少している。また、農薬や化学肥料に頼る農法が行われ、農地の疲弊や農薬中毒の問題も起きている。

### 目標

持続可能な緑化体制(モデル)を確立して地域住民による自主的な緑化活動を推進する。また、モリンガを活用した循環型農業を拡大させ地域住民の収入・生活向上につなげる。

### 活動内容と成果

●3地域目のシンタウン村落群に緑化委員会を組織して、木の伐採・植林ルールを制定した。●モリンガの加工品(モリンガティー・パウダー・シードオイル)の販売を進め、緑化基金を創出した。●循環型農業研修及び環境保全研修を6回実施し、230名の地域住民の参加があった。また、循環型農業研修参加者(1~3年目)のモニタリングを実施した結果、研修を経て循環型農業を実践する住民が62%になった。●モリンガ緑化基金及び村が自主的に集めた基金により10,000本の自主的な植林が実施され、育苗施設が整備された。



手作りの機械によるモリンガ乾燥作業の説明

### 全助成期間の活動を振り返って

本事業は、モリンガを軸として持続可能な緑化システムを構築するという当会にとっても新しい試みであった。本事業を通じて植林-加工-販売-持続可能な緑化という流れの基礎を築くことができた。地域リーダーの問題意識も高く、研修にも多くの参加があった。活動が継続するよう、当会として地域住民と協力し、フォローアップを続けていく。また、モリンガ加工品の販売は、より多く販売できるよう品質の向上と販路開拓に努めたい。



循環型農業研修の様子

### 今後の展望

本事業は、各地域の行政や自治組織を巻き込みながら進めてきており、今後も地域の組織と住民の協力のもと継続的な緑化活動の推進が期待できる。モリンガ加工品についてもFDA(Food and Drug Administration)への申請を経て、ミャンマー国内での正式な販売を開始している。販路拡大による継続的な緑化基金の創出と、持続可能な緑化体制によって同地域での緑化活動のさらなる広がりが期待できる。